

暑中休暇と家庭

女高師教授 黒田定治

附屬の小學校は一部二部三部の三組に分れてゐて一部二部の方は中流以上の兒童が多いのですけれど三部の方は灰買娘もありすれば砲兵工廠の職工、人力車夫、巡查、會社の集金人、大工、左官、理髪道具の製造人、鐵道驛夫、版木職其他種々の業務に従事して居るもの、子女が多いので暑中休暇中の事に就ても種々と協議を凝しましたけれど之れと云ふ名案もないので困つて居ります、先づ差當り毎朝時間を定めて起きさせ涼しい間に二時間許り父兄の方が監督して復習をさせて貰ひたいと云ふのが私の希望でして、從來宿題などを出した事もありませんが、大抵は學校の始まる間際になつて遑て、答案を作つて出すと云ふ風ですから何

にもなりません、私が七八年前に暑中休暇中朝二時間宛生徒を學校へ集めて復習させた事もありませんが暑さが烈しくなると生徒の方でも出るものが少くなる途には一人も出て來なくなりましたから到頭罷める事に致しました事もありません、一体に暑中休暇後學校の始まつた當時は健康状態は平素よりも劣つて居るやうに思はれます、一部二部などの中等以上の家庭の兒童は避暑の方法も種々と家庭で處理して居られますから別に心配はありませんが三部の方の生徒は避暑に行くことと云ふ事も出来ず只家に計り居て赤兒の傳をするとか間食でもすると云ふ様な事のみでありますから、今年も出来得る生徒徒には休暇中の日記を造らせる事に致しました又貯金の加きも休暇中に貰ひましたのは溜て置まして休暇後參校の時學校へ出すやう

に申して置きましたから本年は割合に好い結果を見るだらうと思ひます、尤も是等の方法に就ては家庭の方で充分に監督をして下さらないと中々難しいので私も子供がおりますから休暇中は只今お話し申したやうに致す者へで居ります云々

◎新學士の求婚條件 某大學教授の奥さんの話といふを聞くと、從來大學出の新學士達が嫁を買らふ第一の條件といへば金といふとで夫から容貌に教育といふ段取であつた、所が近來は先づ蔓といふ事を詮議する▲芋の蔓か茄子の蔓かと、質して見ると夫は權威の蔓である▲娘のおやちどんが何んで、親類に何爵が居るとか居ないとか、次官の何がしに蔓があるイヤ陸海軍の方に縁が續て居るなど、蔓詮議を盡してから、さて令容統教育となる▲別に不思議な沙汰でもないが並に一つの不思議といふは教育詮議の折第一に目指されるのが華族女學校で次はお茶の水、夫から跡見女學校といふ順序で女子大學を望むのは殆ど皆無なばかりか鼻であしらふやうな傾きがあるさうな

暑中休暇と家庭

女高師教授 中村 五 六

十

暑中休暇の間は田舎住居をさせて自然に接觸さずる方が知識を啓發する上にも亦身体を養ふ上にも兒童の爲に良いと思ひます、例へば木の葉の落ちるのや水の流るゝ音などは兒童の非常に楽しみ喜ぶ處ですが之れは都會に居ては兎ても駄目です但し田舎住居をさすにしても決して規律を紊すやうなことがあつてはいけません、どうせ遊ばすのだから何うでもよいと云つたやうに打棄り放しにして置くくと自然に規律が紊れます、そこで一般の兒童が誰れでも田舎住居が出来るかと云ふに、先づ中流以上の家庭ならば別荘もわらうし或ひはまた旅館などへ連れて行つてゆるゆると愉快に遊ばせることも出来やうけれど困るのは經濟其他の關